

センサ配線の工数削減 Push-inで一網打尽

Before

例えば、ねじ端子台でセンサ4台を配線すると…

渡り配線に工数がかかる

渡り配線分の端子が必要

工数とスペースがかさむ！



某オペレーター様のお悩み

- 生産現場のIoT化により、センサの導入が増えているんだけど、渡り配線に相当な工数がかかるんだよね。
- 渡り配線分の端子が必要で、盤内スペースを圧迫してしまうんだよね。もっと効率よくスマートに配線できれば、センサの導入もラクチンなのになあ。



After

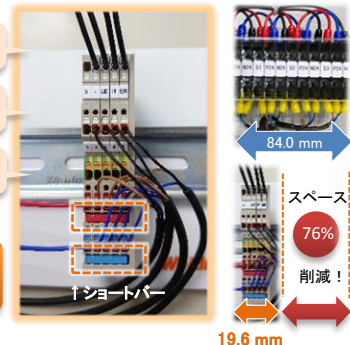
「Push-in センサ端子台」なら、配線ラクラク・省スペース！

挿し込むだけの簡単配線！

電源はショートバーで供給！

断然、省スペース！

センサ配線、こんなにラクできるんです！



Push-in センサ端子台で解決！

- 挿し込むだけの簡単配線！ 振動による緩みもなく、増し締め・トルク管理も不要。
- プラグ式ショートバー（渡り金具）を挿し込むだけで渡り配線処理が即完了。
- センサは端子台1PIに縦1列でスッキリ配線。省スペース化に貢献できます。



改善テーマ

センサ配線の省工数・省スペースをお手軽に実現

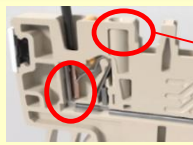
「Push-in式 Aシリーズ端子台」を、おすすめします！



IEC規格以上の実力値

- 引張強度
 - IEC 60947-7-1:2009 ⇒ 50N
- Push-in式Aシリーズ ⇒ 190N以上

※2019年5月Weidmuller社調べ



バネにより後方の金属面に導線ががっちり固定。



テストポイントにテスト棒を固定可能。確実な導通チェックができます。

あわせて便利です

「SA1Q形 レーザセンサ」もおすすめです！

- 黒色ワーク、鏡面体も安定検出！ 検出物の色の影響をほとんど受けずに、距離測定が可能。狙ったワークを正確に検出します。
- 透明体も安定検出！ フィルムやガラス、ペットボトル等の透明体を安定検出するデュアルモードを搭載。
- 豊富な出力タイプ！ NPN出力、PNP出力だけでなく、アナログ4~10mA、0~10V出力、IO-Link 出力タイプをラインアップ

